

時間	内容	講演者
9 : 30 - 9 : 40	開会あいさつ	委員長池松靖人
9 : 40 - 10 : 10	第一演題 PIC/S GMP Annex 1 及び 2A における汚染管理戦略と微生物迅速試験法及び JP19 改正への 取組み紹介 微生物シンポジウム/RMM 発表タスクフォース（当委員会タスクフォース）	池松靖人（国立大学法人大阪大学）
10 : 10 - 11 : 10	第二演題 PIC/S GMP Annex 1 に見る環境モニタリングプログラムの実践 微生物迅速試験法研究グループ（当委員会 3 Group）	杉本聡（武田薬品工業㈱）
11 : 10 - 12 : 10	第三演題 微生物迅速試験法（高感度 ATP 法）の EM 表面付着菌（グローブ/作業衣/作業台面/床）への 利用検討 微生物迅速試験法研究グループ（当委員会 3 Group）	中山秀喜（㈱堀場アドバンスドテクノ）
12 : 10 - 13 : 10	昼食	
13 : 10 - 13 : 55	第四演題 バイオ医薬品製造工程の洗浄後微生物検査への微生物迅速試験法の活用 微生物迅速試験法研究グループ（当委員会 3 Group）	中岡恭平（協和キリン㈱）
13 : 55 - 14 : 35	第五演題 製薬用水の微生物学的品質管理 傾向管理の有効性 微生物迅速試験法研究グループ（当委員会 3 Group）	水上敬（リオン㈱）
14 : 35 - 15 : 20	第六演題 ウサギ発熱試験（パイロジェン試験）に代わる次世代型 in vitro Pyrogen 試験 Monocyte Activation Test (MAT) 技術を用いた パイロジェン試験法 微生物迅速試験法研究グループ（当委員会 3 Group）	益田多満喜（ロンザ㈱）
15 : 20 - 15 : 30	休憩	
15 : 30 - 16 : 30	第七演題 容器完全性保証における課題と考察 容器完全性試験研究グループ（当委員会 1 Group） パート1：定性的漏れ試験による検出レベルの定量化と考慮すべきポイント パート2：最大許容漏れ限度を構成する要素に関する考察	水野諒一（アステラス製薬㈱） 東宏樹（小野薬品工業㈱）
16 : 30 - 16 : 35	休憩	
16 : 35 - 16 : 55	パネルディスカッション	（演者全員参加）
16 : 55 - 17 : 00	閉会挨拶	